

商 況

販賣旬報 第119號 昭和5年2月21日 製鐵所販賣部

昭和4年の鋼材供給統計を見て

備考にある通り、昭和4年分は未だ多分の推定を含んで居て、正確は期し難いが昭和4年の大勢を見る爲め過去3ヶ年の數字を蒐集し参考までに下に掲げた。

過去3ヶ年鋼材供給數量比較表

單位噸

品 種	區 分	製 鐵 所			民 間			内 地 生 産 計			
		昭和2年	3年	4年	2年	3年	4年	2年	3年	4年	
條 鋼	丸角平山工溝其小 形形	鋼	102,275	105,919	123,333	238,177	334,407	366,071	340,452	440,326	489,404
		鋼	19,860	18,247	17,684	9,529	6,800	8,979	29,389	25,047	26,663
		鋼	37,584	55,581	66,308	32,606	17,145	14,935	70,190	72,726	81,243
		鋼	94,492	98,106	95,521	65,900	93,668	97,608	160,392	191,774	193,129
		鋼	15,492	27,332	25,225	—	—	—	15,492	27,332	25,225
		鋼	32,773	32,019	35,753	—	—	—	32,773	32,019	35,753
		他計	5,144	2,084	4,081	1,096	8,835	7,977	6,210	10,919	12,058
	計	307,590	339,288	367,905	347,308	460,855	495,570	654,898	800,143	863,475	
鋼 板	鋼板0.7m/m超 鋼板0.7m/m以下 硅素鋼板 綹鋼板 鉾力板 ユニバーサル 小	鋼板	137,266	148,162	163,762	100,089	156,159	177,172	237,385	304,321	342,934
		鋼板	19,235	25,997	27,934	68,632	75,161	144,162	87,867	101,158	172,096
		鋼板	1,469	3,376	3,287	—	—	—	1,469	3,376	3,287
		鋼板	—	2,497	4,358	—	—	—	—	2,497	4,358
		鋼板	14,706	16,390	17,879	—	—	—	14,706	16,390	17,879
		鋼板	4,195	1,887	784	—	—	—	4,195	1,887	784
		計	176,901	198,309	220,004	168,721	231,320	321,334	345,622	429,629	541,338
軌條及 附屬品	重軌 輕軌 繼目 小	軌條	146,860	177,929	242,036	—	—	—	146,860	177,929	242,036
		軌條	19,091	16,938	22,441	4,139	4,092	1,365	23,230	21,030	23,806
		繼目	5,988	11,719	13,540	—	—	—	5,988	11,719	13,540
		計	171,939	206,586	278,017	4,139	4,092	1,365	176,078	210,678	279,382
線 鋼	材管 他計	鋼	49,032	50,769	61,763	5,395	6,820	5,585	54,427	57,583	67,348
		鋼	—	—	—	47,780	64,460	76,222	47,780	64,460	76,222
		他計	17,468	14,281	14,485	11,255	16,604	7,967	26,723	30,885	22,452
	總計	720,930	809,233	942,174	584,598	784,151	908,043	1,305,528	1,593,384	1,850,217	

備考 1 製鐵所は歴延高に據る

2 民間は主として鐵鋼協議會調査に依る但淺野小倉製鋼、日本鋼業、住友伸鋼、住友製鋼の四社は報告未提出の分ありて推定せり、但徳山鐵板製産高を計上す

3 輸入は大藏省調査のものを三港輸入數量により按分せり

4 「其他」は主として車軸外輪及鍛製品とす

5 昭和4年分は正確を缺くものあるを以て後に至り訂正することあるべし

1、我が鋼材界に於ける昭和3年と昭和4年は鮮かにも明暗一轉した。昭和4年末に於ける四面楚歌裡に暗澹たる業界と昭和3年のあの有頂天となつた好況とを比較せよ。曉の冷たき燭涙の堆きを眺めて、夕の華かなりし燈の影を想ふ感がある。誠に夢に夢みる心持がせられるてはないか。

2、昭和4年初頭、細丸の過剩輸入に一抹の暗影を投じ、月を經るに従ひ益々無氣力となり、下半期の初めに於ける現内閣の成立と共に金解禁、緊縮による消費力の減退と矢繼早の弱氣材料は、内地メーカーの生産増加と相俟ち年末に近くにつれて極度に需給の調節を失して市場を悲境に導き、遂に現在の如くバーベース市場成行7圓50錢と

云ふ未だ嘗て經驗せざる安値に悲鳴を擧げる状態に立ち至つた。

3.) 別表に基き昭和4年に於ける鋼材總供給數量を見るに、昭和3年の増加率が其前年に比し約14%なるに昭和4年は昭和3年に對し7.4%、昭和2年に對しては22%と殆んど變らぬ増加率を示して居る。

之を細別すれば條鋼類は全部増加した、特に現在市場の憂患の中心たる丸鋼は内地生産及輸入共急劇なる増加の傾向となり前年より8萬噸近き多量の供給を見たのである。如何に供給過剩を絶叫されても輸出と云ふ彈力を持たない現状では市場が混亂するのは當然の歸結である。輸出の市場に進出せざる限り、或る程度以上の生産は許されないのである。所謂自給自足は理論以外に一步も踏み出すことは出来ない空想である。

内地生産の増加と輸入減少の見事なものに鋼板0.7耗以下と軌條とがある、然して前者は前年に比し結局3萬噸以上の供給減となり幾分にも市場の消費力の減退に添ふことに努めた結果近來に到り、どうやら底を衝いた様に觀察されて居る、供給減には猶線材を數へることが出来る、線材の現在の市況を照合して見れば市場も或る程度迄は數字に依つて動くことが觀取されよう。

輸 入			總 計		
2 年	3 年	4 年	2 年	3 年	4 年
57,230	43,538	69,610	397,682	483,864	559,014
6,983	5,830	6,741	36,372	30,877	33,404
19,152	17,483	17,342	89,342	90,209	98,585
38,193	22,764	25,157	198,585	214,538	218,286
36,495	14,369	26,056	51,987	41,701	51,286
26,095	9,447	10,751	58,869	41,466	46,504
22,012	26,167	34,501	28,222	37,086	46,559
206,161	139,598	190,158	861,059	939,741	1,053,633
49,562	69,973	57,183	286,947	374,294	400,117
175,392	183,468	79,873	263,259	284,626	251,969
10,210	9,706	10,248	11,679	13,082	13,535
4,512	7,677	2,690	4,512	10,174	7,048
61,052	72,113	81,564	75,758	88,503	99,443
—	—	—	4,195	1,887	784
300,728	342,937	231,558	646,350	772,566	772,896
65,760	24,582	15,351	212,620	202,511	257,387
23,094	20,870	18,133	46,324	41,900	41,939
4,096	4,619	1,440	10,084	16,338	14,980
92,950	50,071	34,924	269,028	260,749	314,306
103,086	172,644	157,474	163,513	230,233	224,822
52,003	53,859	63,049	99,783	118,319	139,271
4,729	4,935	5,052	31,515	35,820	27,504
765,720	764,044	682,215	2,071,248	2,357,428	2,532,432

4.) 昭和4年は誠に不運な年で上半期は前年好調の反動で供給過剩に悩まされ、下半期は金解禁、緊縮に攻め立てられたと云ふ苦闘の年である、然し其消費力の減退は下半期とは云ふものの年末に近づいて漸く本調子に入り、寧ろ本年が實際の減退振りを示すものではあるまいか。斯く考察する時は本年に於ける需給の調節に對しては一層の戒心を要するものと思はれる。

5. 6月積先物値段協議會

世界的不需要と國內消費緊縮の徹底は吾等の領域に於ては斯業の生産取引界を死線に導かむかの如く見える。2月8日大阪に開かれたる協議會は極端なる消費節約が必然的に結果し來つた市場沈靜を如實に物語つて居る。

	c.i.f.	河岸着	希望値段	決定値段
Bar Base	6-11-0	84. ⁹³	80	84
Small Angle	"	"	"	"
Large "	"	"	"	"
Joint	6-8-0	83. ⁴⁷	"	"
Channel (吋)	6-19-6	89. ⁰⁵	85	87
" (m/m)	6-36	83. ⁷¹	83	84
Plate 4.5 m/m	7-11-6	94. ⁸⁹	90	94
" 2.3	7-17-0	97. ⁵⁵	93	197
" 1.6	8-3-6	105. ⁷¹	100	05
wire rod	7-7-9	84. ⁶⁴	85. ⁵⁰	87
Black sheet	13-7-6	160. ⁴⁶	160	160
Tinplate(100lbs)	1-0-8	19. ⁹⁰	19. ⁹⁰	19. ⁹⁰
" (170 lbs)	1-17-8	10. ⁹⁵	10. ⁹⁹	10. ⁹⁰

爲替 2/3-5/6

外電は歐洲シンジケートの販賣協定の影響を受けて保合ながら強含みである。しかも内地市場は輸入値段を數圓方の下値である。この傾向は民間工場と競争の地位に立つ小中形の場合に最も甚だしい。外註追従主義では物は賣れない時代である。内地市況に追従することゝすれば民業と競争することになる。この矛盾を如何に打開すべきであらうか。吾等の受難時代は將に第二期に入つたのである。

1 月中大陸市況 年末年始の休暇明け後に於けるブラッセル取引所最初の立會も、輸出業者の國際協定成行觀望に市場頓に沈靜、僅かに棒鋼、ロッド、型鋼等に付き少量の商内を見たのみ、此を先年1月の荷動きに比ぶれば約60-70%に過ぎないと、従つて相場も殆んど變りなく多くは最低價格協定に餘儀なく保合を續けてゐる状態であつた。顧て去年の今月今日を思ひ出づれば、蓋し平家一門の凋落にも比べ得て、もののあはれに胸打たる、思ひもするが、身を沈めては過去の榮譽も語り草取て驚くにも足らぬ幕開きではある。然し15日の立會も其後の立會も見れば相場の變動はなかつたが聊かながら取引漸増の氣配が感じられた事は確かく、急激なる好轉は今の處勿論望み得べ

き所ではないとしても現下の不況が供給量との關係に於ける實需量の相對的減退に起因する以外に諸種の國際組合の更改及び國際協定の成否如何等を中心として爲さるゝ樂悲とどりの觀測に災いされてゐるのを見れば、此等の將來に於ける見極めが可能となり次第、市場は徐々に好轉して行くのではあるまいかと想像される。

(そこで前月の例を踏襲して、此等諸問題の其後の進展と變化を述べて置かう。

第 1、最低價格協定 棒鋼、工型 (N、P)、大型山形に付いて最低價格協定が成立してゐることは既に報導した所であるが、其他の製品に付いても同様の形式と内容を持つ最低價段の協定が成立してゐるらしい。そして其の最低相場には間屋渡しと直接實需家への賣値の區別がしてあつて其の間 1 志の差が附してあることも其の後たしかめられた新材料である。即ち

品 目	間屋向	直接實需家向
棒 鋼	5—5—0	5—6—0
ピレット 2 吋	4—11—0	4—12—0
シートバー	4—12—0	4—13—0
ジョイスト (N、P 型)	4—19—0	5—0—0
” (B、S 型)	5—1—0	5—2—0
大形山型	5—5—0	5—6—0
鋼板 (3/4")	6—4—0	—
” (3/16")	6—6—0	—

第 2、國際共販組合 大陸メーカーの間に、共存共榮の徹底的にして且つ唯一の更生策として販賣統制組織の設置が論議研究せられてゐること、そして其の先驅とも見らるべき主要製品の輸出向注文配分事務所設置案の議が可決せられたことは既に報告した通りであるが、其の後蒐集し得た材料を綜合すると、
(1) 該注文配分事務所は既に活動を開始し、注文の過少に苦んでゐる白耳義工場に獨逸及ルクセンブルグの手持注文(棒鋼)分與せられたと云はれてゐる。然し其の詳細のニユースは未だ

手にすることが出来ず、各國の輸出割當數量をどう極めたものか、如何なる製品を取扱つてゐるか販賣價格はどうするのか、等確たることは云へないが大體次記の如く決定したらしい。

(イ) 輸出割當數量は 1928 年 1 月 1 日より 1929 年 10 月 31 日迄に於ける 22 箇月間の各國輸出額實績を標準とす。(ロ) 既に成立した取扱品目。棒鋼、ジョイスト (ハ) 價格は公定せず、紳士協約たる前項最低價格の設定に止めること。(ニ) 販賣機關に非ず、個々の契約の締結は各工場に放任せられてある。要は均等なる注文の分配、換言すれば大陸鋼塊組合に屬する各會員相互間に於ける國際的注文配分機關たることが其の主たる使命である。

(2) 以上は理想的施設としての國際共販組合が設置せらるゝまで、6 ヶ月の期限を劃して設けられた暫定的のものたるに過ぎない。愈々最後の議案たる國際共販組合に關して各國メーカーは各自意見を持ち合つて寄り寄り密議を重ねてゐる。仄聞する所に依れば白耳義メーカーは共販組合の設置に代るべき制度として次の如き案を提唱してゐることだ。即ち各國別に各自の注文配分事務所を設置し、此等を更に上層に於て管理する國際委員會の統轄に服せしめ、生産、販賣並に價格を統制せしめんとするのである。而も白耳義には既に國內統制機關としての注文配分事務所が設置せられ活動を開始してゐる其の組織の概略は、白國各工場は各自の代理店を置いて注文を集めしめ、此を所屬工場に移牒せしめるのであらう。總ての工場は毎 10 日注文品在高表の寫を (comptoir nationaux de repartition) 注文配分組合に提出し、若し其が割當數量以上に達した時は該組合の命を遵奉して其の賣値を引上げ他工場の注文獲得に便宜を興へねばならない。而も此の方法を以てしても尙手持注文の偏在を防止し得ぬ時は組合は更に其の會員の注文を他の會員に適宜振り代へることも出来る。最近の報導は該組合が次の通り國內向賣價の第 1 回發表を試みたことを傳へた。

棒 鋼 940 法 工形 (N P) 935 法 山 形 940 法

事務所はソエーザニ及シャーレローに在る。6 月 30 日迄存續せられるであらう。

扱て白耳義の主張は斯かる組合を各國各自に形成し、此等をして國際的委員會の監理下に服せしめ、生産及輸出額の割當を定め公定して製品市場の統制を目論まんとするのである。此は共同組合と趣を異にし、販賣關係に立入つて自ら契約の當事者となり、或は利益を共同計算する等のことはなく、只不均勢なる注文の偏在をためてとかく亂され勝な市價の維持を保有せんとするにある。該案は此の問題を討議すべく特に任命せられた委員會の審議に附することになつてゐるが、獨、佛等の意見も大體共同組合の主たる目的なる市價維持の趣旨にもどることなしと云ふに一致してゐる様であるから、幾分の修正はまぬかれぬとしても結局は具體化するのではあるまいかと考へられてゐる。

兎も角も大暴風雨に見舞はれた大陸メーカーが如何に舵をとつて行くだらうか。右すべし、左すべし、意見、利害まぢまぢな船頭があやつる船の行手は何處か。難破? 再生? 吾人はひたすら航海の安全を祈る。此の情勢の下にブラツセル取引所の相場は相變らず下値に止つてゐるが、漸時強含みの傾向に向つてはゐる。

	8日	15日	22日	30日		8日	15日	22日	30日
棒鋼	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	中形山型	—	—	—	—
工形(NP型)	4-19-6	4-19-6	4-19-6	4-19-6	鋼板(3/16")	6-6-6	6-6-6	6-6-9	6-6-9
" (BS型)	5-1-6	5-1-6	5-1-6	5-1-6	ピレット(2")	4-12-0	4-12-0	4-12-0	4-12-0
大形山型	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0					

昭和5年2月中旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

区分\品名	B.W.G. No. 5	線材		薄板		鉄力板		
		其他	計	上中旬計	0.7耗以下	上中旬計	上中旬計	
神戸	1,659	237	1,896	4,014	276	848	368	928
大阪	243	611	854	854	178	515	826	906
横濱	151	—	151	251	591	1,069	1,411	2,425
計	2,053	848	2,901	5,119	1,045	2,432	2,605	4,259

備考 神戸、大阪、自8日、至18日、横濱、自8日、至17日

東西市況——混沌 東京方面に捲き起こされた丸鋼安賣の旋風は業界を風靡して、噂と憶測と恐怖から極度に萎縮し今の處混沌として歸趨する處を知らぬ有様と云はれて居る。従つて此の際は海外硬化の報など馬耳東風にて特に見積り物は益々安値に追ひ込まれて居る模様で猶地方筋は選挙も影響して荷動き益々鈍いと云はれて居る。要するに勝負は此3、4月の需要期に於ける消費力の如何に懸つて居る様に見て居る筋が多い様である。

東京市況

丸鋼。つい此間までは全然夢想だもしなかつた7圓50銭が現に實在して居ると思ふと如何に不況が深刻かに窺はれやう。民間メーカーの在庫は表面一段落となり眼の上の瘤が取れたやうではあるが、問題は此數量の大部分が果して今迄の呑み玉の整理であるかどうかにあつて、若し浮動物となつて現はれることありとせば將來の生産は暫く惜いて此が消化されるまでは誠に懸念に絶えないと云はれても居る。従つて市場も氣迷の域を脱せず兎に角賣り抜けに焦つて目先猶軟弱と見られて居る。

角、平鋼。角は荷動きも鈍くザリ押、平も不相變の軟調を改めず特に2 1/2以下甚しい様である。

型鋼。有爲轉變近來は萬年不況を謳はれた中山型が他に比し駭りを傳へられて居る。大型等山は沸々市場に現はれた大口見積に消化されて聊か前途に望を繋がれて居る。不等山不勢不變。旭日の勢を見せて居た溝形も今や落潮滔々と2 1/2×5,100×50枕を並べて崩落を見るに到つた。工形も低迷して先行も期待薄。

鋼板。これも同様軟風不止、特に6^m/mは成行こそ9圓丁度を云ふて居るが安値としては8圓7、80銭處のものもあると云はれて居る、然し東西シャー業者の矢繼早の硬化に刺戟され前途相當の期待を持つ者もある、原板は川崎の3圓安と外註入荷期待に頭打ちとなつたが需給觀から相當底堅いと見られて居る。

大阪市況

丸鋼。大體大底を入れたるものゝ如きも崩れ足物凄き東京市場を眺めて依然浮腰の商況で、殊に關東方面民間製鋼業者の中京方面より遠く朝鮮迄大口小口を嫌はずダンピング的の賣出は一般業者に不尠脅威を興へてゐる様である。

角、平鋼。賣行の鈍調に對し供給過多の傾き著しく依然軟化の外なきものゝ如く見られてゐるが、角鋼75^m/mは臺灣鐵道局の纏りたる發註に幾分引締りを見せてゐるやうである。平鋼は相變らず弱く伸鐵業者も不引合を啣しながら10銭刻みに引落されてゐる。

型鋼。中山型鋼はかなり荷動のある方なのも供給又順調にして大勢は弱い。大型ものは滞貨して時々嫌氣の法外安を現出し人氣を悪くしてゐるやうであるが、當所先物契約の漸減と大口見積りの出現に前途目薄時の期待をしてゐる向もある。不等邊不變。工形鋼は目先の輸入もの一段落に市場漸く底入ながら賣行不振、本國安と比較的早積可能の爲め前途に見込薄のやうである。溝型鋼は急落後の一服、取引は頗る閑散となつた模様である。

鋼板。シャー業者の硬化懸命に幾分氣分を良くせるが如きも尙安値を止める迄に到らず今暫く安値持合を續けるものと見られてゐる。薄板市場は弱持合だと云はれてゐる。

線材。本月初旬一氣に91圓迄引揚げし相場も7、8日頃より落付其後1圓位安き處にて落付賣買吻合ひの形も賣手の強腰と製品賣行も幾分か芽をふき初めし様子にて13日より又々1圓反撥初旬の最高値に復歸したと云はれ

昭和4年12月中民間棒鋼生産高

單位噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸 鋼		1 $\frac{1}{8}$	833	2 $\frac{7}{8}$	70	角 鋼		平 鋼		其他 58	
1 $\frac{1}{4}$ "	94	1 $\frac{1}{4}$	690	3	32	1 $\frac{1}{4}$ "	99	5 $\frac{1}{8}$ "	849		
5 $\frac{1}{16}$	310	1 $\frac{3}{8}$	320	3 $\frac{1}{4}$	37	1 $\frac{3}{4}$	168	1 $\frac{1}{4}$	6		
3 $\frac{3}{8}$	2,741	1 $\frac{1}{2}$	427	3 $\frac{1}{2}$	53	2	335	1 $\frac{1}{2}$	115		
7 $\frac{1}{16}$	4	1 $\frac{5}{8}$	233	3 $\frac{3}{4}$	22	2 $\frac{1}{2}$	253	1 $\frac{3}{4}$	33		
1 $\frac{1}{2}$	2,669	1 $\frac{3}{4}$	426	4	28	2 $\frac{1}{8}$ -2 $\frac{1}{2}$	36	1 $\frac{7}{8}$	46		
3 $\frac{1}{8}$	13	1 $\frac{7}{8}$	229	其他 465		2 $\frac{5}{8}$ -3	4	2	32		
5 $\frac{1}{8}$	4,736	2	170					2 $\frac{1}{2}$	170	計	1,411
11 $\frac{1}{16}$	22	2 $\frac{1}{8}$	59					2 $\frac{3}{8}$	5		
3 $\frac{1}{4}$	5,645	2 $\frac{1}{4}$	68					2 $\frac{7}{8}$	93		
13 $\frac{1}{16}$	11	2 $\frac{3}{8}$	4					3	2		
7 $\frac{1}{8}$	2,430	2 $\frac{1}{2}$	116					3 $\frac{1}{2}$	2		
1	3,156	2 $\frac{3}{4}$	2	計	26,135	計	895			總計	28,441

昭和5年1月當所製品揚地別發送高

單位噸

品名\區分	揚 地 別											合 計			
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	内海沿岸四國地方	奥羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿洲關東州地方	支那臺灣		其他		
鋼 材	官廳向	4,191	3,343	90	1	115	500	145	3,818	1,551	1,092	—	811	—	15,697
	民間向	28,001	20,651	6,949	2,775	—	—	152	624	439	10	—	—	—	57,601
	計	30,192	23,994	7,039	2,776	155	500	297	4,442	1,990	1,102	—	811	—	73,298
鋼片及鋼塊	47	478	1,613	5	—	—	—	4,309	—	—	—	—	—	—	6,452
副 製 品	23	871	9,510	—	20	237	—	1,237	—	—	—	—	—	—	11,998
合 計	30,262	25,343	18,162	2,781	175	737	297	9,988	1,990	1,102	—	811	—	91,648	

販 賣 旬 報

第120號 昭和5年3月1日

製鐵所販賣部

相場は何處まで下る(其の6) 其は粗雜な一瞥には過ぎなかつたが、前々號まで5回に亘つて、兎も角も歐大陸諸國の投賣能力と過去の實績とを探れ終つた。

そして若しも彼等が無報酬を以て甘ずるならば現在の相場はまだ幾分の餘力を残してゐること、而も更に需要界の極度の不振に見舞はれて工場作業の繼續に困難を感ずるに至れば其處に營利を超越した安値も出かれまじきことを知つた。要之、「事實は理論の外にあり」である。生産費は只一應の基準、將來の鐵價を下するより直接にして主要なる材料は寧ろ需要と供給とに依つて織出される曲線の動きである。賣手と買手との力の強弱である。前者は價格決定の量的方面よりする觀測であり、後者は質的方面よりする判斷である。

そこで此の論理の過程に誤りなしとすれば本命題に對して答へんとする筆者は當然量質兩面より小にしては大陸鐵鋼界のよつて立つ環境を、大にしては世界經濟の將來に於ける動きを豫斷しなければならぬことになる。

之こそ身に餘る大役、借越なりとの非難はしばらく忍ぶとしても餘りにも甚しき暴擧である。のみならず筆者と雖も「限りある紙數に」と逃れる術を知らぬでもない。さわれ結論への道は此の關所を通ることなしには達せられない重盛は遂に中庸の道を見出した。

筆者は可及的に自己の主觀を省ぶこゝ。そして雑誌や海外よりの報導によつて集められた所のものを何の粉飾をも交へることなしに雜然と並べたて、其處に見出さるゝ一脈の共通的見解を立論の根據としよう。

此の場合取捨選擇の自由は筆者にない、責ありとすれば多數決制度其のものの根本的缺陷にある。

先づ大陸に於ける鐵鋼業の現状を見る。1928年、殊に其の後半に於ける鐵價の急速なる高騰のあとを受けて翌29年は全く逆轉の歩調を辿り、同年2月の平均相場 6-3-6 (佛、白) を峠として、棒鋼輸出相場は月毎に數志を失ひ、10月の如き 5-7-9、5-5-3、5-4-0、5-1-6 と矢継ぎ早々に惨落して、文字通り鐵鋼業者を周章狼狽せしめたことはまだ記憶新なる所、其の挽回と大勢の阻止に凡ゆる智囊をしばり心血の悉くを注いでゐるのが大陸鐵鋼界の現状である。注文の枯渴には自己保存の必要に迫られて、自から激鬪の渦中に捲かれたことが悲慘なる最近の暴落を一

層助長したことを痛感して統制ある共同戦線の形成に苦心し焦慮してゐるのが大陸メーカーの現在の立場である。事此處に至つた事情は十にして足りない。

(1) 海外市場を襲つた金融難と、(2) 英國再壓延業者の半製品買付激減は年初より存在した軟化材料であつた。(3) 獨逸國內を支配した經濟界、工業界に於ける不振は獨逸をしてより多くの製品を海外に運ぶべく餘儀なくせしめた。(4) 國際鋼塊組合を初めとして國內、國際統制組織の更改期が相次いで到來し、果して更改せらるゝや否や又如何に改造せらるゝであらうかが年間通じての議題の中心であつたことも製鋼界に暗雲をたゞよはしめた重要な原因であつた。(5) 而も此の軟化の渦中にありながら4月と7月の兩度に亘つて夫々200萬噸及100萬噸の増加を敢行した國際鋼塊組合の態度は、よし其が必しも各國の實産額を増加せしめるものではないとしても餘りに其將來を樂觀した無謀な擧として責の一半は負はねばなるまい。(6) 更に11月中旬米國ウォール街に捲き起つた株式界の旋風は對米信用の萎縮及極東南亞に於ける亞米利加の競争増加を懸念せしめて、一時立ちなほりかけたるが如く見受けられた大陸鐵鋼界に又新たな弱氣材料を加へたのである。要は需給の不調である。而して既存統制組織の無能の暴露である。従つて又其の對策も需給の調和と統制の完全以外に出でぬであらう。將來の需要は如何、將來の供給及統制は如何、前者は一般經濟界の觀察に初まり、後者は主として生産者側に存する意思と力の付度である。當るも八卦當らぬも八卦、問題が餘りにむづかし過ぎるのだと再度豫防線を張つて置こう。

第1、需要界 需要の遽なる擡頭は今の所到底期待し得る處ではない。獨逸の金融難は米國よりの輸資減少に可成り深酷で、造船界を初め一般産業界の好轉には先行樂觀を繋ぎ得ない。又英國經濟界の豫想も銀の續落、印度政府の動搖、支那問題等當面穩かならず、加ふに現内閣本年度豫算及關稅政策等に對する疑念、延ては石炭失業問題解決如何によつては政變を氣遣はれ先行不安定、一般に増税を免れざるものとし生活の緊縮不景氣を觀測せられてゐる。更に東洋方面殊に金解禁直後の日本市場に需要の回復を期待することは木に據つて魚を求むるの類で、總選舉に壓倒的勝利を博した現内閣の緊縮政策は更に徹底的に實行せられ得る可能性を持つてゐる、世界はおしなべて不景氣の一年を送らねばなるまい。

然し需要を構成するものは單に直接の消費にあてられるもののみではない。元より其の終局に於ては造船界、機械工業界、建築界等産業の各部門に於て消費せらるゝものではあるが、其處に至る迄に投機の対象として或る時間間屋の倉庫に在庫品として横へられて居る部分がある。

此の場合、問屋は單に製造業者と消費者との中間に立つて兩者の賣買を仲介するのみでなく、自己の危險計算に於て製造業者より之を買ひ、自己の所有に收めて更に問屋に或は消費者に轉賣する。前者は賣つて買ふのである。後者は買つて賣るのである。従つて其は將來の鐵價に對する豫測判斷如何に依つて、實需如何に拘らず可成りの振幅を以て浮動する。

昨今の需要不振の中には、市場を支配する氣迷ひ材料に、こうした假需要の極度の減退が働いてゐることたしかで、此等の悲觀材料が除かるれば實需量に於ては變化なしとしても、異常に手控へられた假需要の回復と共に市場の強調が期待されないわけでもない。而も買手が見おくつてゐる主なる原因は諸種の國內、國際組合の將來に對する危惧と生産業者の態度である。筆者は更に筆を進めて此等の諸問題がどう解決せられて居るか、又其の今後の進展如何を窺はねばならない。(續く)

5、6月渡の先物賣行—復々減小の新記録。1.) 逐月減少の新記録出現に驚歎を續けて居た先物申込は、今月に至つては將に啞然たるものである。定期も無い今月故如何に市場が萎微しても、斯くまでとは豫期しなかつた。然し一面から觀察すれば、買控へも中途半端よりは思ひ切つて減少した方が寧ろ立ち直りも早いであらう。市況と照合して恐らく此邊が底てはあるまいか、最も此數字より減少すれば零になる。

問屋筋としても、斯く買氣の減少した折に買付けるのが一案であると言ふことも萬々承知はしてゐるが、現在の自分の腹工合と今迄の損續きを考へると到底思ひ切つた處置に出られないのも無理ではあるまい。

2.) 條鋼は軒並み激減で只全くの例外として2、3大形が先月より多いと言ふ奇現象を現はして居る、3小形は當所在庫が惱の種となつて全く申込の跡を絶つたと云ふことが出来る。

鋼板申込は先月の驚異的激減の1,200餘噸の、そのまた $\frac{1}{100}$ に近い400餘噸! 最高潮時の4萬噸の申込に比し正に $\frac{1}{100}$ である。此需要の振幅を正直に受け入れるとするならば如何なる設備が能く之に副ふことが出来るだらうか、市場の調節も蓋し難い哉である。

3.) 鉄力板、黑板、線材の内、線材は 400 吨の賣出増である。市況が反映して線材の申込が稍々増加したのが目立つて居る。

5、6 月 積先物 賣行 概況 單位吨 備考、2 種定期は含まず

工場名	先物	線材	一、二形	三小形	一中形	二中形	四型钢	一大形	二、三形	軌條	計	申 込 吨 數					
												引受	賣出	總吨數	内 譯		
															東京	大阪	名古屋
		300	1,500	2,000	700	1,000	1,200	1,000	2,500	—	10,200						
先物部の	條鋼	—	—	60	—	12	—	—	—	—	72	76	70	—	—	6	
	丸角鋼	—	30	—	15	30	—	—	—	—	75	76	35	10	18	13	
	鋼鋼山形	—	10	—	69	—	—	—	—	—	79	85	65	10	4	6	
	鋼鋼山形	—	—	—	—	2	—	—	530	—	532	390	115	245	27	3	
	不溝工先物計	—	—	—	58	11	—	—	43	—	112	150	—	150	—	—	
	鋼鋼山形	—	—	—	—	85	—	317	531	—	936	688	417	250	18	3	
	鋼鋼山形	—	—	—	—	—	45	—	390	—	435	425	195	230	—	—	
	先物計	—	40	60	142	140	45	317	1,497	—	2,241	1,890	897	895	67	31	
	鋼板の部				鉄力板の部				黑板の部		線材の部						
	工場名	先物	引受	申 込 吨 數				品 種	市 場	實 需	賣 出	1,500	品 種	線 材	製 釘 材		
總吨數				東京	大阪	名古屋	其 他									區 分	向 向
厚板	1,000	30	30	30	—	—	—	賣出吨數	700	600	申込吨數	賣出吨數	2,500	3,100			
一中板	350	344	189	177	15	10	47	申込吨數	830	600		申込吨數	2,940	3,100			
二中板	700	170	210	150	25	—	35	100lbs	273	200	引受吨數	申込吨數	2,940	3,100			
先物計	2,050	544	429	297	40	10	82	170lbs	409	200		引受吨數	引受吨數	2,600	3,100		
								Oil size 計	18	200							
									700	600							

當所及二社中型等邊山形鋼 1 月生産高 生産調節申合せに依る當所及日本鋼管、東海鋼業の 1 月中の生産高は下記の通りで基準數量に比して約 2,000 吨の減産であり前月の生産高より 1,000 吨の増加を見た。

50m/m	60m/m	65m/m	70m/m	75m/m	90m/m	100m/m	計
1,911	3	2,733	47	1,554	1,156	1,361	8,765

昭和 5 年 2 月中線材、薄板、鉄力板、輸入速報

區分	品名	線 材				薄 板		鉄力板	
		B.W.G No. 5	其 他	計	2 月中計	0.7 耗以下	2 月中計	2 月中計	
神 戸		233	102	335	4,349	133	931	528	1,456
大 阪		330	102	432	1,286	467	982	213	1,119
横 濱		252	104	356	607	470	1,539	834	3,259
計		815	308	1,123	6,242	1,070	3,502	1,575	5,834

備考、神戸、大阪、自 19 日 至 26 日、横濱、自 18 日、至 25 日

昭和5年1月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材品種寸法別數量表

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼ノ部		8¼	10	44	5	型鋼ノ部		5½×3	4	1½×1½	30
丸	鋼	8½	9	75	8	等邊山形鋼		6×3	10	2×2	59
		9	25					6½×3	30	2½×2½	5
		9½	9	計	590			7×3	13	3×3	46
¾	75	9⅞	1	平	鋼	¾	60	7×3½	7	4×4	33
¼	83	10⅞	10			1	151	8×3	20	5×4	5
⅝	65	11	6	⅝	36	1¼	206	8×3½	5	6×3	3
⅞	1	12	29	⅞	140	1½	620	8½×3½	37	計	191
⅜	163	12½	29	⅞	108	1¾	92	9×3½	7		
13/32	1	7-5m/m	30	¾	274	2	60	9½×3½	2	パイリングシート	
⅞	2	9	447	¾	33	2½	10	10×3½	3	計	1,532
½	65	19	132	¾	79	3	295	12×3½	1		
17/32	3	22	31	1	70	3½	243	計	144	工形鋼	
⅝	73	25	15	1¼	70	4	74	5"×3"	27	型鋼合計	8,377
2¼	10	33	5	1½	97	4½	2	5×4½	18	條鋼合計	14,415
⅜	7	60	42	1¾	109	5	11	8×4	41		
¾	72	130	1	1⅞	1	6	239	8×5	79	鋼板ノ部	
2¾	18	計	3,123	2	109	150m/m	141	8×6	130	鋼板(0.7m/m超)	
⅞	148	(造船材料)		2¼	12	200	192	10×5	54	1/16"	1,136
29/32	3			2½	116	計	2,396	10×6	183	3/32"	396
1	44			3	42	(造船材料)		12×5	304	⅝	875
1½	16			3⅝	30	2½"	2	12×6	452	⅞	177
13/32	2			6	25	3	10	16×6	159	¾	198
1⅞	28			6½	3	3½	141	18×6	233	⅞	67
1⅝	6			7½	10	4	97	18×7	290	⅞	355
13/16	1			8	5	4½	18	18×18	23	½	810
1⅞	4			9	34	5	21	20×6¼	83	⅞	5
1¾	47			10	1	6	48	24×7	121	⅞	40
1⅞	9			11	1	計	337	24×7½	48	¾	16
1⅞	10			12	135	(造船材料)		計	2,245	B.W.G.No.	
1⅞	5			13	46	2½"×2"	19	3½"×2"	16	11	6
115/32	2			14	7	3×2½	2	4×158	50	12	3
1½	16			15	9	4×3	22	4×2	1	13	13
1⅞	4			16	62	4×3½	20	5×175	50	13½	5
1⅝	6			20	5	5×3	206	5×2½	77	14	195
1¾	42			21	12	5×3½	199	8×3½	2	15	21
13/16	11			22	138	6×3	44	10×3½	29	16	75
1¾	2			24	28	6×3½	38	10×4	23	17	28
1¾	21			27	38	6×4	113	12×3½	206	18	72
1⅞	1			27	38	7×3½	1	15×4	75	19	9
2	29			55m/m	17	計	672	n/m m/m	101	20	6
2⅞	31			110	23	(造船材料)		100×50	101	21	4
2¾	10			計	1,855	不等邊山形鋼		300×100	60	22	14
2¼	38			(造船材料)		2½"×2"	19	計	690	-75m/m	3
2½	29			2"	1	3×2½	2	(造船材料)		1	2
2⅞	1			4½	1	4×3	22	8"×3"	4	1-5	56
2¾	38			計	2	4×3½	20	8×3½	2	1-8	2
2½	29			半圓鋼		5×3	4	10×3½	5	2	17
2⅞	1			(造船材料)		5×3½	42	15×6	30	4-5	200
2¾	27			計	6	6×3	1	計	41	6	60
3	21			八角鋼		6×3½	47	計	731	12m/m	4
3⅞	25			計	224	7×3½	32	丁形鋼		40	10
3¼	3			其他ノ棒鋼		計	801	" "		30"	6
3½	19			計	4	球山形鋼		計	10	36	17
3¾	1			棒鋼合計	6,038	(造船材料)		1×1		38	22
4	16					5"×3"	5			46	10
4¼	89									計	4,934
4½	153										
4¾	57										
5	166										
5¼	17										
5½	76										
6	156										
6¼	34										
6½	56										
7	54										
7½	7										
8	81										

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
(造船材料)		計	7,348	計	181	繼目板	1/2	377	其他鋼材ノ部			
1/6	2	鋼板(0.7m/m以下)		鐵力板	148 ² lbs用	4	3/4	341	特殊鋼			
2	2			100 ^{lbs}	920	82	174	1	521	計		
.24	29			sheets	170	18	24	1 1/4	184	丸鋼	226	
.25	13			7	40	12	13	1 1/2	204	角鋼	36	
.26	23			8	30	計	7	2	6	平鋼	57	
.30	572			9	21	1	222	2 1/2	381	鋼板	31	
.32	34			10	159	50	軌附合計	3	142	其他	12	
.34	14			11	112	60	1,745	3 1/2	167	計	361	
.36	317			12	30	70	線材ノ部	4	97	外輪		
.38	137			13	1,793	80	線材	4 1/2	1	計	122	
.40	60			B.W.G.No.		90	7/8	5	26	外輪		
.42	2			21	5	100	5/8	6	85	計	122	
.44	74			26	25	mixed	1	6 3/8	149	外輪及車軸		
.46	341			23	114	Oil size	2	7	46	計	3	
.48	2			30	1,362	其他	5m/m	8	167	其他合計	486	
.50	56	33	8	計	B.W.G.No.	8 5/8	200	鋼材總計	43,045			
.54	1	計	3,669	鋼板合計	6	9	10	シート	1,221			
.56	3	電氣鐵板		16,947	5	12	12	バー				
.60	362	0.014"	502	軌條及附屬品ノ部	4,622	24m/m	1	ブルーム	52			
.625	5	0.017	236	軌	4	32	12	ピレット	583			
.66	37	0.35m/m	20	條	3	48	6	フェロク	222			
.68	15	0.50	143	48 ² lbs	2	60	1	ローム其				
.69	6	1.00	11	82	1	66	1	他				
.70	12	計	912	347	0	76	8	ケツク	43			
.72	8	縞鋼板		60	線材合計	11	13	スチール				
.75	64	3/16"	61	20	6,198	100	1					
.78	109	1/4"	98	18	鋼管ノ部	114	2					
.81	22	5/16"	10	12	鋼管	159	18					
.88	41	3/8"	12	290	鋼管	Pipe fitting	12					
1	12	計	2,414	其他	3/8"	Pipe Joint	12					
1 1/2	39			180	鋼管合計	3,254						
計	2,414			計	1,523							

東西市況—底入れか。メーカーも問屋も未曾有の苦境に呻吟すること數月、其成行に就ては深甚なる注意を拂はれて居たが、窮すれば通ず。此上の惨落には耐え得ないと見て、お互に稍々覺醒しメーカーも安値に賣り應ぜず、問屋も無謀の見積をしても望なしと見て警戒氣分となり、別項記載の當所先物概評にもある通り極端な買控へにより、満腹の在庫も何とか消化の見込も立つ形勢となり、一方弱氣材料の出盡しにより底堅めも濟み流石の下げ足も漸く一段落となつた模様で、ホット一息の形である。

東京市況

丸鋼。氣に病んで居たメーカー在庫も今の處では市場に出廻る模様もなく、其後の賣腰も強い爲め寧ろ思惑の安値見積の連中が今更ながら苦境に立つと云はれる程で、先行の手當薄もあり、氣配は漸く底入れを感ずる様になつた模様である、只僅少の浮動物に脅かされて未だ暗相場の域は脱し得ないと云はれて居る。細丸は官民分野の決定の行き悩みと當所在庫の脅威から氣迷ひ、太丸不變。

角、平鋼。兩者共丸鋼の影響を受け荷動きの鈍い割合には下支へ氣味となり、目先の硬軟も大體丸鋼に追従する様觀測されて居る。

型鋼。中形等山は消化につれて其後益々底堅く、メーカーの自重と相俟つて相當の期待を繋られる様になり、8圓30錢が最低とさへ云はれる様になつた。大形等山も稍々見直し氣味となつた。不等山の不勢未だ改まらず。溝形も流石に昔の面影はなく高値のものも平均せられて來た。工形軟調不止。

鋼板。好調が相當永く續いた後の頽勢故中々轉換の機運も見えず、シャ-業者の對策も未だ市場に反映するまでには到らない模様である。

大阪市況

丸鋼。前途に對する見込は依然渾沌として豫測出來ず小口商内は兎に角、大口ものは生産者對需要家と接近し市場には何等影響はない様である。

角、平鋼。角鋼 6^m/_m—12^m/_m ものは伸鐵ものにて充分間に合ひ中型以上のもは賣行鈍く平鋼の軟弱と共に一向商内らしきこともなく、平鋼伸鐵ものは現に 80圓臺割れを示して居る。又丸鋼生産限のメーカーが其餘力を平に向けんとして居ることも注目せられてゐる。

型鋼。山形鋼は中山形好轉の兆を見せては居るが未だ伸びない、東京が始終鋼管ものに押されて會社の賣値より下廻つて居ることは人氣を損じて居る。工形鋼全く閑散と云ふ他はない、然し本國の入電高に幾分落付いては居るが伸力は鈍い。溝形鋼は當所品出廻りに高値は訂正されて暴落したまゝ、弱保合、在荷は左程多からざるも一段落込んだ安値を盛返すには餘りに環境が悪いらしい。

鋼板。薄板は不相變安値の儘持合つて伸る。厚板はシャ-業者の釣上策も現實の生産過剰に手古摺つて居る市場は苦もなく 90圓を割つた様である。

線材。目下の呼値は 外註品 95圓 當所品 92圓 神戸製鋼品 91圓である。

需要は殆んどなく唯時折 1、2 の鐵線會社よりの小口注文あるのみで市場閑散、外註品の入荷期日も 4月中旬頃と見られてゐるので頭重ながら以上の値段で持合つてゐる。

鋸力板。目下賣行不振の際にて値段も殆んど變らず弱持合である。

外國爲替市中相場

區分\月日	Feb 21	22	24	25	26	27	28
日 英	3/4—1/4	"	3/8—3/32	"	"	3/8—1/4	"
日 米	49—1/4	"	"	"	"	"	"
日 佛	12:50	"	"	"	"	"	"
備考	日佛のみ正金建値。						

東京大阪市中相場

						東京	2月25日	
						大阪	2月24日	
丸	鋼		丸	鋼		丸	鋼	
東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪	
6 ^m / _m	8.15	8.40	19	7.65	7.90	65	8.30	8.00
9	7.90	7.90	25	"	7.90			
12	7.70	8.00	50	8.30	8.00			

角 鋼			不等邊山形鋼			鋼 板		
	東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪
9 ^m / _m	9.00	9.30	3/8" × 2" × 3"	8.40	8.50	1.6 × 3' × 6 ^m / _m '	10.30	10.30
12	8.80	8.10	3/8" × 3 × 4	8.30	8.20	1.6 × 4 × 8	10.50	10.20
15	8.70	"	3/8" × 3 1/2 × 5	"	8.10	3.2 × 4 × 8	9.40	9.20
19	"	8.50	3/8" × 4 × 6	"	8.30	3.2 × 5 × 10	10.70	9.80
38	8.80	8.30	1/2" × 4 × 6	"	8.10	6.0 × 4 × 8	8.90	8.80
						6.0 × 5 × 10	9.00	8.85
						9.0 × 4 × 8	9.10	8.80
						9.0 × 5 × 10	"	"
							薄鋼板 (13 枚)	
						米	62.0	62.0
						英	61.0	60.5
						八 幡	"	"
							鐵 力 板	
						米	{170 ^{lbs} 22.00	21.30
							{100 12.40	11.60
						英	{170 21.00	19.40
							{100 11.40	10.30
						八 幡	{170 20.30	20.50
							{100 11.40	11.20
							線 材	
							No. 5#	94.50 92.00

平 鋼			溝 形 鋼		
	東京	大阪		東京	大阪
1/4" × 1 1/2"	7.80	7.90	1/4" × 2" × 4"	9.20	9.30
1/4" × 2	"	"	0.312 × 2 1/2 × 5	9.10	9.20
1/4" × 3	8.20	8.00	3/8" × 3 × 6	"	10.00
3/8" × 4	8.90	8.40	3/8" × 3 × 8	8.90	8.30
1/2" × 4	9.00	8.50	3/8" × 3 1/2 × 10	8.70	"
			3/8" × 3 1/2 × 12	"	8.50

等邊山形鋼			工 形 鋼		
m/m/m/m/m	東京	大阪		東京	大阪
6 × 50 × 50	8.30	8.40	1/4" × 3" × 6"	8.00	7.90
6 × 65 × 65	"	"	3/8" × 6 × 12	8.40	8.10
9 × 75 × 75	"	"	0.28 × 4 × 8	8.00	7.90
9 × 130 × 130	8.50	"	0.35 × 5 × 12	8.50	8.20
12 × 130 × 130	"	8.50	0.36 × 5 × 10	8.60	8.20
15 × 150 × 150	"	8.40			

備考 單位 100kg につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 吨當り。鐵力板は 1 箱當り。

12. 1 月 渡 定 期 先 物 積 殘 數 量 表

寸 法	數 量	寸 法	數 量	法 寸	數 量	寸 法	數 量	寸 法	數 量	寸 法	數 量
棒 鋼 / 部		90	93	型 鋼 / 部		100 × 75	52	7 × 3	10	鋼 板 / 部	
丸 鋼	計	659	平 鋼	等 邊 山 形 鋼		125 × 75	6	8 × 3	76	鋼 板	
6 ^m / _m	146			45 ^m / _m	165	125 × 90	43	計	3,140	1.6 ^m / _m	262
50	355			50	768	計	131	工 形 鋼		2.3	73
計	501	2 1/2"	12	65	239	溝 形 鋼		6' × 3'	2	3.2	117
角 鋼		3	63	100	22			200 × 100	102	鋼板計	
38 ^m / _m	33	4	27	130	15	m/m/m/m		250 × 125	43	合 計	
44	50	計	102	計	1,209	75 × 40	213	計	147	合 計	6,341
50	25			不等邊山形鋼		100 × 50	1,454	型鋼計	4,627		
65	187	棒鋼計	1,262	m/m/m/m		300 × 90	10				
75	271			75 × 65	30	5' × 2 1/2"	615				
		備考	2 月 22 日 調			6 × 2 1/2	280				
						6 × 3	482				

昭 和 5 年 1 月 棒 鋼 寸 法 別 揚 地 別 引 渡 高 表 單位 吨

區 分	丸 鋼					合計	區 分	丸 鋼					合計	
	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼			民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼		
寸 法	阪 神 揚	京 濱 揚	其 他	計	阪 神 揚	京 濱 揚	其 他	計	合計	阪 神 揚	京 濱 揚	其 他	計	合計
6 ^m / _m	70	271	109	450	10	—	—	—	464	15	—	—	—	30
6.5	—	—	—	—	—	—	2	2	2	16	—	—	—	30
7	—	—	—	—	—	—	1	1	1	18	—	—	—	41
7.5	—	—	—	—	—	4	3	7	7	19	—	—	—	11
8	5	5	41	51	—	—	1	1	52	21	—	—	—	7
8.5	—	—	—	—	—	3	19	22	22	22	—	—	—	13
9	249	1,783	457	2,489	4	—	8	12	2,501	23	—	—	—	1
9.5	—	—	—	—	1	3	5	9	9	25	—	—	—	30
10.5	—	—	—	—	7	5	8	20	20	26	—	—	—	1
11	1	—	—	1	—	—	—	—	1	28	—	—	—	1
12	703	220	298	1,221	—	4	96	100	1,321	30	—	—	—	2
13	—	—	—	—	—	—	12	12	12	31	—	—	—	3

丸 鋼										角 鋼											
區分 寸法	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼					合計	區分 寸法	民間向普通鋼				官廳向規格品並特殊鋼					合計
	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚			京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計			
32	—	—	—	—	—	—	64	64	64	75	—	—	—	—	—	—	8	8	8		
34	—	—	—	—	—	2	2	4	4	80	6	—	—	6	—	6	—	6	12		
35	—	—	—	—	—	6	—	6	6	90	8	—	—	8	—	—	—	8	8		
36	—	—	—	—	—	23	3	26	26	100	—	—	—	—	5	9	14	14	14		
38	—	—	—	—	—	14	16	30	30	120	—	—	—	—	—	9	9	9	9		
40	—	—	—	—	—	—	1	1	1	125	—	—	—	—	92	—	92	92	92		
44	—	—	—	—	—	1	—	1	1	130	—	15	—	15	—	—	—	15	15		
48	—	—	—	—	—	9	—	9	9	135	—	—	—	—	16	—	16	16	16		
50	54	55	98	207	1	—	14	15	222	140	—	—	—	—	2	2	2	2	2		
55	84	30	8	122	—	—	10	10	132	150	—	—	—	—	9	9	9	9	9		
60	76	49	12	137	7	—	1	8	145	152	—	—	—	—	7	7	7	7	7		
65	157	65	70	292	—	—	29	29	321	170	—	—	—	—	21	21	21	21	21		
70	176	60	12	248	—	—	5	5	253	角鋼計	266	254	60	580	16	104	84	204	784		
75	241	172	42	455	—	—	9	9	464	平 鋼											
80	19	—	17	36	2	—	1	3	39	3/4"	138	162	42	342	—	—	—	—	342		
90	98	40	35	173	26	—	17	43	216	7/8	20	65	9	94	—	—	—	—	94		
100	112	80	9	201	—	1	21	22	223	1	291	164	36	491	—	—	6	6	497		
130	—	—	—	—	3	—	46	49	49	1 1/4	—	44	3	47	—	—	1	1	43		
140	—	—	—	—	—	2	14	16	16	1 1/2	36	102	28	165	—	—	1	1	167		
145	—	—	—	—	5	—	—	5	5	1 3/4	70	5	—	75	—	—	2	2	77		
150	—	—	—	—	—	—	6	6	6	2	589	211	84	884	—	—	18	18	902		
160	—	—	—	—	—	—	7	7	7	2 1/4	130	122	—	252	—	—	—	—	252		
160	—	—	—	—	—	—	7	7	7	2 3/8	—	—	—	—	1	—	—	1	1		
170	—	—	—	—	7	—	—	7	7	2 1/2	173	69	31	273	—	—	23	23	296		
200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	323	194	20	537	—	—	19	19	556		
丸鋼計	2,045	2,830	1,208	6,083	76	77	593	746	6,829	3 1/2	174	49	23	246	—	—	6	6	252		
										平鋼計											
12 ^m /m	25	50	7	82	—	—	—	—	82	3 5/8	404	37	30	471	—	—	—	—	471		
16	15	15	3	33	—	—	—	—	33	4	211	86	5	302	—	—	5	5	307		
19	20	10	3	33	—	—	4	4	37	5	133	328	—	466	—	—	11	11	477		
32	20	35	13	68	—	—	—	—	68	平鋼計	2,697	1,688	311	4,646	1	0	92	92	4,739		
38	81	42	—	123	—	—	9	9	132	總計	5,003	4,722	1,579	11,309	93	181	769	1,043	12,352		
44	27	28	5	60	—	—	—	—	60												
50	64	40	29	133	—	—	6	6	139												
55	—	19	—	19	—	1	—	1	20												

販 賣 旬 報 第 121 號 昭 和 5 年 3 月 13 日

製鐵所販賣部

6、7 月渡先物協議會 市況渾沌たる折も折、當所の建値方針に根本的の變革あるやの噂は噂を生んで、6、7 月渡先物協議會は 3 月 8 日緊張裡に東京出張所に於て開かれた。

外電は前月に比し大體に於て硬化の道程を辿つて居るが、惡化の極にある現在の市場には何等の刺戟ともならず、三都希望値段は標準となるべき外注値段とは恐ろしく懸け隔てたものであつた。

然し本所としては外注追従主義の放棄は此際益々市況を惡化せしむるの材料となるのみならず、少くとも己が領海に屬する範圍に於ては無謀の輸入に脅かされるにあらざれば我の自重により當然市況は好轉すべきものにして改變すべき何等の理由も見出さぬので、海外軟調の 1、2 のものに就き若干値下げをなし其他は大體据置きと決定した。

只、民間工場と共同分野にある中小型工場物は著しく其事情を異にし外註値段のそれとは甚しく隔絶せる値段を以て取引せられある故、少くとも民間メーカーの賣値に追従するの餘儀なきに立ち至つた即ち自由分野に屬する丸鋼 9 耗 72 圓、平鋼 65 耗以下 74 圓と云ふ内地メーカー値段ありとの報告に基き當所は止むを得ず之に追従して此兩品種のみに限り各其 1 圓上値の次記の通り決定した。民間分野のベース物に就ては製鋼懇話會側の希望を其儘容るゝことにし。中小型山形鋼は其分野に就て折角民間側と協定進行中にあるを以て今回は今迄通の標準により建値した。

(13 日決裁)

品名\區分	C. I. F	河岸着値段(2%—3%)	希望	決定値段	備考
棒鋼 ベース	6—13—3	85 ⁸⁹	80	83	1 圓下げ
丸鋼 9 耗	7—2—0	90 ⁸²	—	73	据置
平鋼 65 耗以下	— *	—	—	75	〃

中小型山形鋼	6-12-6	85 ⁶⁴	80	84	据置
大型山形鋼	6-12-6	85 ⁶⁴	80	84	//
工形鋼	6-10-0	84 ⁴³	80	83	//
溝形(吋寸法)	7-0-0	89 ³⁰	85	88	1圓上げ
// (耗寸法)	6-9-0	83 ⁹⁵	83	84	据置
鋼板ベース	7-13-0	95 ⁶¹	90	94	//
// 3.2耗	7-16-6	97 ³¹	92	97	//
// 2.3耗	8-2-0	104 ⁹⁸	99	104	//
// 1.6耗	8-4-0	105 ⁹³	100	105	//
線材	7-8-6	88 ⁰²	86	87	//
黒薄鋼板	13-5-0	159 ⁰²	156	158	2圓下げ
鋳力170封度	1-17-6	19 ⁸⁰	{大阪 19 ⁰⁰	19 ⁸⁰	10錢下げ
// 100封度	1-0-8	10 ⁹⁵	{東京 19 ^{50}}		
			{東京 10 ^{50}}	10 ⁸⁰	
			{大阪 10 ^{70}}		

2月中の三港輸入

1.) 内地は生産制限、積出延期と鼎の沸く様な渦の中に、相も變らず輸入鋼材は遠慮會釋なく悠々と入港して来て、彌が上にも益々市況を悪化させる材料となつて居る。見る通り其情勢は前月と殆んど同じである。特に棒鋼、溝形、鋼板、軌條、線材など符節を合した様である、即ち少しも減少の跡がない、これは昨秋に於ける型物、鋼板の好調による思惑輸入が其大部分である、猪を喰つた酬である。

此輸入に對する遁辭は色々あらう、「あの好調時に問屋の注文する數量に對しメーカーが順調なデリバリーをせぬから止むを得ず輸入したのだ、罪はメーカーに在る」それも一理あらう。

然し好調時に際し一時押し寄せる、あの尨大神速なる假需要まで抱擁し得る力は現在のメーカーには無いのである。然しながら現今では需要の大勢の數字は明瞭である、少くとも一流を以て自他共に許す問屋筋及需要者が今更其數字を無視するほど冒險心に驅られて居るとも思へぬ、實に此輸入數量は麼阿不思議の事實である。

2.) 昨年同期と比較するに總數量で4萬噸の減少であるが、主要な原因は丸鋼と薄板と線材が減少したにある。丸鋼に就ては勿論去年よりは少いが、それはあの異狀に多量だつた細丸が減少しただけで、現下の日本の狀勢から見て本年は決して少量とは云へない、これも昨秋大陸メーカーの手段的安賣に乗せられた結果と見て居る筋もある。2月に目立つて少ないのはやはり鋼板(0.7耗以下)と線材である、然しこれとても坊間傳ふる處を眞とすれば餘命幾何もあるまい特に線材は2月初旬の好轉で相當多量の外注の成立を傳へて居る、どうしても冷靜にはなれなかつたものと見える。

3.) 内地メーカーの生産力は限定的で、要すれば生産の制限でも統制の術は施せるが、輸入は殆んど無限で然も全然無統制である、其處にも一つの問題が残されて居る。

昭和5年2月中三港鋼材輸入數量表 單位噸

品種\區分	神戸	大阪	横濱	2月計	前月計	本年累計	前年同期計
丸鋼	1,622	1,071	983	3,676	3,329	7,005	23,194
角鋼	122	116	64	302	591	893	1,304
平鋼	762	111	517	1,390	1,857	3,247	3,075
等山	1,188	116	384	1,688	2,736	4,424	6,931
不山	1,063	86	486	1,640	802	2,442	674
溝形	202	244	264	710	729	1,439	1,678
工形	245	599	928	1,772	2,247	4,019	4,412
鋼板(0.7 ^m /m超)	4,786	1,274	1,314	7,374	7,347	14,721	7,012
// (0.7 ^m /m以下)	1,036	999	1,642	3,677	3,670	7,347	21,544
鋳力	1,479	1,149	3,015	5,643	4,846	10,489	10,576
軌條	138	226	1,050	1,414	1,524	2,938	5,191
線材	4,009	1,286	807	6,102	6,197	12,299	26,054
シートパイル	370	—	1,130	1,500	1,531	3,031	3,609
鋼管	269	1,208	2,774	4,251	3,247	7,498	6,371
其他	1,284	65	1,029	2,378	2,448	4,816	3,952
計	18,580	8,550	16,387	43,517	43,101	86,668	125,577
硫酸安母尼亞	14,314	406	報告未着		20,068		
石炭酸	36	—			—		
ナフサリン	—	—			20		
クレゾール	—	—			518		

備考 横濱港の外輪、車軸は報告未着に付算入せず。

昭和5年1月中當所品種寸法別生産高

單位噸

寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量
棒鋼ノ部		半丸鋼		溝形鋼		0.7m/m超鋼板		鋼板計 19,379		製釘材	
丸鋼		1/4" x 3/4"	1	5" x 2 1/2"	691	0.8m/m	2	ユニバーサル平鋼		5.5m/m	2,698
6m/m	645	1/2 x 1	1	6 x 2 1/2	823	1	33	10"	26	計	2,698
7.5	1	1/2 x 1 1/2	1	6 x 3	519	1.2	8	11	138	線材及製釘材合計 5,887	
8	82	1/2 x 2	2	7 x 3	416	1.4	5	12	7	其他鋼材ノ部	
8.5	34	計	5	7 x 3 1/2	173	1.5	40	13	1	特殊鋼	
9	4,757	六角鋼		m/m m/m	30	1.6	987	14	51	153	
12	1,807	0.436	1	75 x 40	30	1.85	321	15	17	普通鋼	
18	3	0.596	4	100 x 50	711	2	69	16	6	90	
19	3	0.706	2	計	3,363	2.3	478	17	23	鍛成品	
20	1	0.816	6	工形鋼		2.5	62	19	6	特殊鋼	
38	31	型鋼ノ部		6" x 3"	371	2.6	177	25	23	鍛成品	
40	38	等邊山形鋼		7 x 4	97	2.9	2	25.4	2	特殊鋼	
42	7	25m/m	34	8 x 5	14	3	153	計	281	56	
44	16	30	7	10 x 6	31	3.2	1,435	硅素鋼板		外車輪	
45	4	35	15	18 x 7	943	3.5	110	0.35m/m	288	288	
46	5	40	1,732	20 x 2 1/2	145	3.6	1	0.43	106	鋼線	
48	5	45	467	24 x 7 1/2	1,660	4	296	計	394	75	
55	219	50	738	m/m m/m	150 x 75	4.5	1,991	鋸力板		環鐵	
60	53	60	16	計	8	5	161	B.W.G.No.		24	
65	376	65	1,305	球山形鋼		5.25	3	33	739	ドームリ	
70	116	75	174	5 1/2" x 3"	8	5.5	8	31	416	ング	
75	722	80	208	計	8	5.7	20	30	204	ボールト	
80	42	85	1,190	Z形鋼		6	3,061	29	149	ナット	
80	42	90	2,236	100 x 50 x 40	198	6.5	8	計	1,508	66	
90	142	95	812	計	198	7	77	鋼板合計 21,562		69	
95	104	計	8,122	T形型		7.5	1	軌條及附屬品ノ部		5	
100	301	不等邊山形鋼		5 1/2" x 3"	19	7.94	1	軌條		其他鋼材	
計	9,514	m/m m/m		計	19	8	730	12LBS	540	合計 1,163	
角鋼		130	1,190	鋼板ノ部		9	2,991	18	1,045	鋼材總計 88,837	
16m/m	106	150	2,236	0.7m/m以下鋼板		9.5	4	30	557	本所	
22	1	計	8,122	0.5m/m	1	10	213	30K	13,270	戸畑	
38	60	條鋼合計 18,873		0.5m/m	1	11	226	37	6,453	62,166	
40	7	鋼板合計 34,134		sheets	45	12	1,820	50	3,503	計	
44	62	鋼板ノ部		7	817	13	119	計	25,368	合金鐵	
50	153	0.7m/m以下鋼板		B.W.G.No.		14	173	鋼塊		39	
計	389	鋼板ノ部		33	167	15	108	普通鋼塊		1	
3/4"	590	鋼板ノ部		34	123	16	398	電爐鋼塊		40	
7/8	84	鋼板ノ部		38	1,187	17	34	坩堝鋼塊		鋼塊	
1	675	鋼板ノ部		40	26	18	77	鑄造鋼塊		109,196	
1 1/2	159	鋼板ノ部		45	185	19	127	計		814	
1 3/4	78	鋼板ノ部		50	3	20	21	鋼片		11	
2	338	鋼板ノ部		55	57	21	2	内部向		1,163	
2 1/4	298	鋼板ノ部		60	3	22	11	外部向		計	
2 1/2	497	鋼板ノ部		65	1	25	57	計		89,401	
3	708	鋼板ノ部		70	1	26	3	シートバー		内部向	
3 1/2	342	鋼板ノ部		75	5	28	3	計		5,738	
3 3/8	483	鋼板ノ部		80	2	30	1	短尺及屑鋼		計	
3 3/4	1	鋼板ノ部		85	1	32	5	短尺鋼		1,816	
4	351	鋼板ノ部		90	7	34	2	屑鋼		1,240	
4 1/2	3	鋼板ノ部		95	18	38	7	計		3,056	
5	619	鋼板ノ部		100	61	40	2	線材		内部向	
38m/m	2	鋼板ノ部		105	7	45	5	5.5m/m		計	
80	1	鋼板ノ部		110	1	50	1	6		5,738	
90	1	鋼板ノ部		115	1	55	1	7		計	
100	3	鋼板ノ部		計	2,551	60	2	8		短尺及屑鋼	
115	1	鋼板ノ部		計	2,551	65	2	9		計	
計	5,234	鋼板ノ部		計	2,551	70	18	計		3,056	
平鋼		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
3/4"	590	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
7/8	84	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
1	675	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
1 1/2	159	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
1 3/4	78	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
2	338	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
2 1/4	298	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
2 1/2	497	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
3	708	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
3 1/2	342	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
3 3/8	483	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
3 3/4	1	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
4	351	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
4 1/2	3	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
5	619	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
38m/m	2	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
80	1	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
90	1	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
100	3	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
115	1	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	
計	5,234	鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部		鋼板ノ部	

硫安とベンゾール類 1、洞岡硫安販賣開始、爲替恢復の影響、世界的供給過剰を主なる原因とする輸入硫安の頻々たる値下と内地硫安の餘儀ない追隨により、相場は急テンポの落調を示して昨 100 圓臺割を傳へられたのはつい最近の事の様に思はれたが、昨今は既に 90 圓弱の暴落迄報ぜられて而も前途は益々悲況を豫想せられて居る。

恰も豫て建設中の當所洞岡硫安工場の設備が完成してよいよ近く新生産開始の事となり客月末先物第一回の見積數量を發表契約した。春肥期の回復を豫期した本所各工場の 5 月渡入札價格の如きも結局斯界の大勢には抗する事を得ず全く期待を裏切つて意外の安値を出現した。但し供給數量は増加したとは云へ一方作業豫定の變更から第三工場に於ては多量の減額を餘儀なくせられたので當所全生産額には大なる變化はない。

極端なる外國硫安の安値發表に内地生産會社がどの程度迄應戰するか、當所硫安の前途も尙一層多端を想はせて來た。因に洞岡新工場上半期中生産豫定高は下の如し。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	計
292 噸	302 噸	292 噸	302 噸	302 噸	292 噸	1,782 噸

2、3、4 月渡ベンゾール類價格 何んとか出來そうな緩和方法はあるまいかと寄々協議を重ねて折角生れ出た大阪揮發油賣値統一機關も、協調を高唱する一面に於て各々地盤の擁護擴張に寧日無く、協定價格は單なる表看板に止まり總てが空頼みに終つて商狀は一層軟調を報ぜられて居る。財界の狀勢そのものが悪から最悪に向つて動いて居る際だから多少の波瀾は止むを得ないが、折角生れた以上は今少し實のある協定によつて新展開と運行かずともせめて現狀維持の原動力たらしむる事を期待したい。

一方ベンゾール市況は關係方面の緊張によつて新春一時小康状態を保つたが、何分不需要期に直面し縦横の還境悪から逐日闇にデリ安を續けて當分人氣見直しは困難を傳へられて來た。

當所モーターベンゾールは先月末東西直需要者の意嚮を聽いて今期價格は昨 7 圓値下の事とし、以下夫々の状態に鑑みて下記の改正價格を發表した。

- 1、モーターベンゾール 70 噸以上契約の場合 金 163 圓 35 噸以上 " 金 173 圓 35 噸未滿 " 金 183 圓
 - 2、100 %ベンゾール 金 215 圓
 - 3、ソルベントナフサ 30 噸以上契約の場合 金 135 圓 30 噸未滿 " 金 140 圓
 - 4、製鐵テレメン油 金 150 圓
- 備考 (以上八幡工場構内渡容器付 1 佛噸單價)

昭和5年3月上旬線材、薄板、鋳力板、輸入速報

區分\品名	線 材			薄 板 0.7 噸以下	鋳 力 板
	B.W.G.No.	其 他	計		
神 戸	824	51	875	67	257
大 阪	256	—	256	76	—
横 濱	1,058	102	1,160	408	655
計	2,138	153	2,291	551	912

備考 神戸、大阪、自 2 月 27 日 至 3 月 7 日、横濱、自 2 月 26 日、至 3 月 7 日

東西市況一低迷 先旬來どうやら底入れてはないかと感ぜられた市場も、其後噂に上つて居るメーカー間の協定も一向決定する模様なく、また明日に迫る當所先物値段が頭痛の種となり、種々の流言飛語を織り交ぜて再び氣迷ひの状態に入り、猶連日の雨で荷動きの出鼻を挫かれ益々氣を腐らせて居ると云はれて居る。こうなると海外強調など問題外となり、今更口にする者さへ無いと云ふ有様である。然し流石に 3 月の聲を聞いてから値段は兎に角として見積の數量は相當多くなつて來た様に傳へられて居る。

東 京 市 況

丸鋼。問題の中心丸鋼は、前旬は軟材料の出盡しと先行の手當薄を楯に大底を衝いたかに見えたが、其後上野停車場の安値見積りなどに端を發し、新聞紙上に現はれた當所市場追従の噂に脅かされて再び氣迷ひの状態を現出するに到つたが、兎に角當所 6 月積先物値段發表までは恐は恐は乍ら下げ盡つては居る模様である。

角、平鋼。角は動かず、平も大體行く處まで行き盡した感があると云はれて居る。

型鋼。中型等山の形勢不變、賣物一掃により益々堅く、大型等山荷動きの鈍調により頭打ち、不等山外注入荷も利いて不味、特に懸案の 3×4、3×5、3½×5 落潮、溝形も最早他の型物と變らぬ迄に軟化し、特に 2×4、2½×5 は反

動安に落ち込み感慨無量である。工形取り立て、云ふ程の事もなく軒並みの軟調である。

鋼板。薄物氣乗薄であるが、厚物は大阪の品拂底の聲に稍々氣を持ちかけたと云ふ程度で形勢觀望の形と云はれて居る。

大阪市況

丸鋼。市中在庫は漸減し先物手當の極減、本國高、内地メーカーの生産限實行と何れも強氣材料の出揃に一眺あるべきところ財界四圍の情況之れを不許、今暫くは所謂忍苦時代と見られてゐる。

角、平鋼。商内は益々細り行く平鋼伸鐵業者の賣出 750 は全く採算無視のものに見られてゐる、自然的の調節を待つの外はないらしくメーカーは生産費の減少に精進し問屋は無口錢に甘んじて來るべき時期を待つて居る。

型鋼。山型鋼東京市況の手堅きを報じ來るも各製鋼業者が我も我もと山型鋼製作の豫報宣傳に前途悲觀されて伸びず。工形鋼 3×6:4×7:7×100×300 は滞貨して ¥ 780 の安値に取引され他のものは不變依然閑散不味。

溝型鋼花形たりし 500×100 は當所品の出廻りに ¥ 860 とドン底に蹴落された、如何に賣扁傾の甚だしきかを窺知するに足る。其他のものは大同小異の成行を示し賣行又活氣なし。

鋼板。1.6, 3.2 安値の釘付け、4.5 は軒並の ¥ 870 厚板在庫品は拂底してゐるが何れも安値もの買乗換の可能を期待して先づ賣るべしとせられて居る、當分反撥は見られぬだらうと云はれてゐる。

總材。2 月中旬よりこのかた持合ひ状態である。豫想の通り入荷少く賣物としては寥々たるものにして 3 月の入荷も少く豫想の下に本來なればまだ昂騰すべきコンディションにありながら一般財界不振の折柄賣行滲々しからず、4 月初旬渡は現物より 3 圓方安く 4 月中旬以降は買手鳴りをひそめ商談整はず目下の處休戰状態だと云はれてゐる

鐵力板。昨年來より毎旬、毎旬、否毎日、毎日、不況、不振、沈顔、其他あらゆる悲觀の言葉も最早使ひ盡されて來た我が鐵力界も目前に需要期を控へそれを幾分か期待してゐながら、まだ買氣不冴次第安の域を脱し得ぬ有様だと云はれてゐる。

海外電報 2 月 26 日着在伯林長井商務書記官來電

獨逸鐵物相場は國際販賣價格カルテル成立に連れ強含み、但し市況未だ之に伴はず現下國內需要特に不振。

2 月 28 日着在倫敦松山商務參事官來電

鐵鋼界新註文簿にて前途悲觀、銑鐵比較的活氣あり、大陸物半製品の輸入減退、大陸販賣協定は英國の製造家に取リ多少有利、相場持合、鐵力不況相場下向き標準物 18 志半、黑板不味。

外國爲替市中相場

區分\月日	Mar 1st	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	10th
日 英	3/4	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49-1/4	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12.50	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

{東京 3 月 6 日
大阪 3 月 5 日

丸	鋼		平		鋼		不等邊山形鋼		
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	
8 ^{m/m}	8.10	8.40	1/4" × 1 1/2"	7.70	7.90	3/8" × 2" × 3"	8.40	8.20	
9	7.75	7.90	1/4" × 2	"	8.00	3/8" × 3 × 4	8.30	8.00	
12	"	"	1/4" × 3	7.90	8.10	3/8" × 3 1/2 × 5	8.35	"	
19	7.60	"	3/8" × 4	8.70	8.20	3/8" × 4 × 6	8.40	8.20	
25	"	"	1/2" × 4	"	"	1/2" × 4 × 6	"	8.10	
50	8.00	8.00	等邊山形鋼		溝形鋼		1/4" × 2" × 4"	9.00	8.70
65	7.60	"	m/m m/m m/m	8.30	8.30	0.312 × 2 1/2 × 5	"	"	
角	鋼		6 × 50 × 50	"	8.40	3/8" × 3 × 6	"	"	
9 ^{m/m}	9.00	8.20	6 × 65 × 65	8.30	8.30	3/8" × 3 × 3	8.80	8.30	
12	8.70	8.10	9 × 75 × 75	8.40	8.40	3/8" × 3 1/2 × 10	8.70	"	
15	8.50	8.00	9 × 130 × 130	"	8.30	3/8" × 3 1/2 × 12	"	8.20	
19	8.60	8.10	12 × 130 × 130	"	"				
38	"	8.00	15 × 150 × 150	"	"				

寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
溝形鋼			230×80	55	301	20×7½	—	70	鋼板		
5'×2½''	106	652	230×90	265	325	24×7½	—	30	m/m		
6×2½	37	419	250×90	80	266	m/m m/m		1.6	1.6	279	968
6×3	76	772	300×90	99	274	100×75	10	15	2.3	65	328
7×3	48	261	380×100	15	50	125×75	25	80	3.2	120	1,090
7×3½	25	328	合計	936	4,358	150×75	10	10	4.5	45	292
8×2½	25	65	工形鋼			200×100	—	35	6	25	140
8×3	20	155	6'×3''	—	20	200×150	—	45	8	10	46
8×3½	—	55	6×5	—	40	230×100	20	85	9	—	42
m/m m/m			14×6	30	85	250×125	175	370	12	—	10
75×40	10	80	16×6	30	80	300×150	75	298			
100×50	75	355	18×7	60	130	合計	435	1,393	合計	544	2,916

正 誤

砂鐵鑛の状態に関する研究 (著者訂正)

頁	行	誤	正
151	2-3	R. KOGAKUSHI MAEDA	R. MAEDA KOGAKUSHI
"	10	literatures are refred	literatures are referred
152	23	Fe ₂ TiO ₅ はこれに屬す	Fe ₂ TiO ₄ はこれに屬す
154	12	Fe ₂ O ₃ への變化は	Fe ₂ O ₃ への酸化は
155	1	酸性鐵床に於ては	酸性鐵床に於ては
156	6	Doelter	Doelter
"	8	イリジウム	イリジウム
"	10	瓦斯を滲透せざる	瓦斯を滲透せざる
157	Table 1	(比重の項) Polmer	Palmer
"	Table 1	(熔融點の項) 1350° Yamada	>1350° Yamada
158	Table 2	(熔融點の項) Internat. crit. Table	Internat. Crit. Table
159	5	Amer. Iron Steel Ind.	Amer. Iron Steel Inst.
162	30	70 青森縣下北郡野牛百尺層窓石	(野牛百尺層を除く)
163	3	R. Küch	R. Küch
"	16	Broderick: Eidem	Broderick: idem
164	6	Zeit. Krist. Min. 20 (1890)	Zeit. Krist. Min. 20 (1892)
"	41	G. R. Fittler	G. R. Fitterer
Table 2	10	Tredestrand	Tredestrand
"	20	Ural Ekersund	(Ural を除く)
"	38	Smith place, N-Cal.	Smith place. N. C.
"	55	(比重の項へ挿入)	4.288
"	56	"	4.249
"	57	"	4.410
"	59	"	4.520
"	74	"	4.240
"	"	(挿入)	Villeneuve-en-Montagne, France